



平成 23 年 8 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社ジース
代 表 者 名 代表取締役社長 池添 吉則
(コード番号:8922 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取締役経営戦略本部長 奥田 広志
電 話 番 号 06 - 4391 - 2001(代表)

連結業績予想の公表について

平成23年5月14日付「平成23年3月期決算短信」にて未公表となっておりました平成24年3月期の業績予想について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 3 月期連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想	-	-	-	-
	百万円	百万円	百万円	百万円
今回発表予想(通期)	610	50	20	10
今回発表(上期)	65	265	275	280
今回発表(下期)	545	315	295	290

2. 連結業績予想修正の理由

当社は、不動産事業者に対し様々なサービスを提供するソーシャルコンテンツプロバイダ事業への特化を図り、ユーザーの皆さまの利便性を追求と、当社が独自に持つ豊富なデータベースの提供をとおして、ユーザーの皆さまの安心できる物件選びに寄与し、また、不動産会社の皆さまにとりましても、インターネットを通じたユーザーとの多様なマッチングの機会を提供してまいりました。

本日現在において、『ジース』サイトにおける登録不動産店舗数約10,000社、物件掲載数も約300万件とサービス開始以降、堅調に推移しております。

今期の業績予想につきましては、『ジアース』での広告収入やデータベース事業での新サービスの売上の不確実性が高いことから、慎重に精査を行う必要があるものと考え、平成23年5月13日の『平成23年3月期決算短信』公表時には未公表とさせていただいておりました。

今期5月以降当社は、大手の不動産事業者に対し、当社がもつ独自のデータベースと広告商品のパッケージ販売に注力いたしました。その販売活動のなかで、約2ヶ月間のフリーレント期間を設け、実際にご利用頂くなかで概ねご好評をえることができたとの認識から、現在契約に向けて交渉中であり、第2四半期中からの売上計上を見込んでおります。また現状、このようなフリーレント期間にある相手先が複数社あり、第2四半期以降フリーレント期間が終了をすることから、順次契約に向けて交渉を行っていくことで、データベース販売を中心としたビジネスサービス事業での業績予想が達成可能であると考えております。また、広告事業では、ビジネスサービス事業の伸びによるPV数の向上が見込まれることから広告媒体としてのジアースサイトの価値が向上し、広告契約件数の増加が見込まれることから業績予想の達成が可能と考えております。

今後、さらに他の大手の不動産事業者を中心に拡販を目指すことにより、第2四半期におきまして、広告事業により26百万円、ビジネスサービス事業により35百万円の売上を計画しております。また第3四半期におきましては、広告事業とビジネスサービス事業においてそれぞれ75百万円と96百万円、第4四半期におきましては、120百万円と250百万円の売上をそれぞれ計画しております。

また、同時にシステム運用費等の固定費の削減にも引き続き注力し、当第2四半期以降、一層の削減が可能となる見込みです。

なお、現在見込んでいる数値はビジネスサービス事業における新サービスの契約が順調行くことを前提としておりますが、当該新サービスでは未だ契約に至っていないことから、予定より遅延することや価格交渉の結果、業績予想未達となる一定の不確実性は内在しております。

(注)上記予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因により、予想と異なる場合があります。

以上